

平成20年10月29日

各位

上場会社名 森下仁丹 株式会社  
 代表者 代表取締役社長 駒村 純一  
 (コード番号 4524)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画室長 武貞 文隆  
 (TEL 06-6761-1131)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,100	40	20	10	0.48
今回発表予想(B)	4,000	30	40	20	0.96
増減額(B-A)	△100	△10	20	10	――
増減率(%)	△2.4	△25.0	100.0	100.0	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	3,534	112	114	188	9.09

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	250	190	460	22.23
今回発表予想(B)	8,100	130	120	350	16.92
増減額(B-A)	△700	△120	△70	△110	――
増減率(%)	△8.0	△48.0	△36.8	△23.9	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,387	246	260	361	17.47

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000	120	90	80	3.87
今回発表予想(B)	3,930	40	50	45	2.16
増減額(B-A)	△70	△80	△40	△35	――
増減率(%)	△1.8	△66.7	△44.4	△43.8	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	3,417	66	83	170	8.24

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,300	250	200	480	23.20
今回発表予想(B)	8,000	160	150	390	18.85
増減額(B-A)	△300	△90	△50	△90	――
増減率(%)	△3.6	△36.0	△25.0	△18.8	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,197	177	212	360	17.44

## 修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、売上高は前回公表比微減となる見込みですが、利益貢献度の高い健康食品の通信販売の競合激化等による影響を受け売上総利益が低下、さらに当社の主力商品であるピフィーナのプロモーション活動を前倒し実施したことにより営業利益は、連結・個別とも前回公表比に比べ減少する見込みです。また、経常利益および四半期純利益は連結においては前回公表比微増となるも個別においては前回公表比減少する見込みです。なおプロバイオティクスおよび機能性カプセルの受託は好調に推移いたしました。

通期の業績予想におきましても、昨今の金融不安により先行き不透明な厳しい経営環境が続くものと思われ、健康志向の高まりが期待されるものの、健康食品を中心としたヘルスケア分野の苦戦が予想されることと 第3四半期に予定しております当社の開発型新工場「大

阪テクノセンター」や新本社への移転に関連する諸経費が予想を上回る見込みであり、通期業績を見直した結果、連結・個別各々において売上高・利益とも前回公表比減少する見通しです。

なお、平成20年5月15日決算短信で公表しております通り、特別損益には上記「大阪テクノセンター」の建設に伴う補助金3億円強の特別利益と特別損失としての移転費用を見込んでおります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上